

講義コード	1151	科目区分	教職に関する科目
(フリガナ)	キョウイクカテイロン	(フリガナ)	タカハシ カズエイ
授業科目名	教育課程論	担当教員名	高橋 一栄
英文授業科目名	On educational courses		
基準年次(開講期)	2年(前期)	履修形態	必修(教職に関する科目)
曜日/時限/講義室	火4限/314教室		
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)	講義中心
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	学習指導要領、歴史の変遷、教育課程編成(カリキュラム)		
授業概要・目的	<p>本授業では、次の3点を中心に学習する。</p> <p>1) 学習指導要領の変遷とその概要を理解する。</p> <p>2) 教育課程編成の原理、学力の定義等について理解する。</p> <p>3) 体育・保健体育を中心にして、学習指導案が具備する要件等について理解する。</p>		
到達度評価の評価項目	<p>(知識・理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領とはなにか、それは社会の変化とともにどのように変わってきたか具体的に述べる。</li> <li>・教育課程編成に必要な要件について、学力と関連させて具体的に述べる。</li> <li>・体育・保健体育の学習指導案が具備する要件について説明し、具体的に作成することができる。</li> </ul>		
第1回	<p>ガイダンス・オリエンテーション</p> <p>授業の進め方、教育課程論を学ぶ意義</p>		
第2回	<p>戦後「新教育」と学習指導要領の変遷</p> <p>学習指導要領はどのような目的で、これまで何度改訂されてきたか？ その意図は？ 戦前も視野に入れて</p>		
第3回	<p>教育課程の編成 とくに生涯教育の立場からのアプローチ</p> <p>教育課程とはなにか？生涯教育の立場とは？とくに体育・保健体育で必要なことはなにか・</p>		
第4回	<p>学校の機能と教育課程、カリキュラムとは</p> <p>学校にはどのような機能があるか？ 学校における教育課程の位置づけとは？ カリキュラム</p>		
第5回	<p>教科論、教科外活動、総合的な学習</p> <p>小学校・中学校・高等学校の教科 教科外活動とは？ 総合的な学習</p>		
第6回	<p>カリキュラムの編成と評価</p> <p>学校評価とは？ 学校評価を生かしたカリキュラムの編成とは？</p>		
第7回	<p>授業改善のポイント とくに体育・保健体育授業に焦点を当てて①</p> <p>教師と子どもの位置の変化 昔のよい授業といまのよい授業の変化とは？</p>		
第8回	<p>自主学習：レポート作成①</p> <p>小学校の体育の授業で、心に残っている授業はどんな授業か</p>		
第9回	<p>授業改善のポイント とくに体育・保健体育授業に焦点を当てて②</p> <p>授業改善は6つのポイントから考える 基本は教師の位置が変化してきたこと</p>		
第10回	<p>自主学習：レポート作成②</p> <p>中学校の保健体育の授業で、心に残っている授業はどんな授業か</p>		
第11回	<p>授業改善のポイント とくに体育・保健体育授業に焦点を当てて③</p> <p>授業構造図が具備する要件とは とくに学習者が中心の授業の進め方とは？</p>		
第12回	<p>具体的事例①</p> <p>小学校 バasketボールの授業の展開一児童が主体となって学ぶ授業一</p>		
第13回	<p>具体的事例②</p> <p>小学校 器械運動 マット運動 デジタル体育</p>		
第14回	<p>具体的事例③</p> <p>中学校 ハンドボール 水泳</p>		
第15回	<p>まとめ 学校体育の意義 スポーツとはなにか</p> <p>教育課程の編成実施 体育・保健体育の授業の価値</p>		
教科書・参考書等	高橋一栄(2000)「体育学習指導論」－授業改善のポイントを求めて－文久出版：新潟		
授業で使用する機器等	各回授業資料用意(授業者) パワーポイント、指導案等		
予習・復習へのアドバイス	各回の講義内容の確認と参考資料の確認		
履修上の注意・受講条件等	教職必修		
成績評価の基準等	・授業に取り組む姿勢(30/100)・課題・レポート(20/100)・授業理解力(50/100)		
メッセージ	遅刻厳禁、授業中いねむり飲食禁止、携帯電話机上に置かずしもう バッグも机下に 障害等で携帯を授業で使う場合は事前に申し出る		
オフィスアワー			
その他			